努力賞
（子どもの部）

「かしこいスイミー」

荒川区立第五峡田小学校二年
竹内　新

やなぎ田先生、こんにちは。ぼくは、『スイミー』という本を読みました。

この本をえらんだりゆうは、魚の出てくるお話だからです。

『スイミー』は、スイミーという魚のきょうだいたちがまぐろにたべられてしまうけれど、ちがうなかまといっしょに大きなまぐろをおい出すお話です。

このお話を読んで、ぼくは、一ばん心にのこったばめんがあります。それは、小魚のスイミーたちが、大きな魚をおい出したばめんです。

なぜ心にのこったかというと、まぐろよりも体が小さいのに、かしこくさくせんを立てて、大きなまぐろをおい出したことがすごいと思ったからです。

ぼくは、『スイミー』を読んで、スイミーという魚はとてもやさしい魚だと分かりました。それは、じ分と同じように、大きな魚をこわがっている小魚たちがいると分かって、さくせんをよく考え、さいごは、みんなのなやみをかいけつしたからです。

ぼくは、これまでに色々なけいけんをしたけれど、スイミーのように、よく考えて行どうして、じ分のど力で、つらいかべをのりこえたいです。そして、なかまのなやみをいっしょにかいけつするような、やさしい心をもって、毎日をすごしたいです。